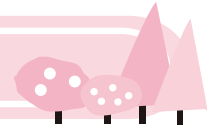




市教委だより



特認校制度について

四万十市では、通学区域に基づいて、児童の就学する学校を定めています。そうしたなか、小規模の学校において、その学校の環境（自然環境・社会環境・文化・特色ある教育活動など）のもとでの教育を希望する児童・保護者に対し、四万十市教育委員会が指定した小学校に、校区外からの入学や転校を認める特認校制度を設けています。

特認校としては、川登小学校と大用小学校の2小学校を指定しています。特認校制度についてのお問い合わせや、特認校制度に基づく、川登小学校または大用小学校への就学の希望がありましたら、教育委員会にご連絡ください。



川登小学校

大用小学校

小規模校への就学制度です

高知県教育研究所 秋季連絡協議会

12月5日、6日の2日間、本市において「高知県教育研究所秋季連絡協議会」が開催されました。

この会は、高知県内にある19の公立教育研究所が年に1度、一堂に会し、「力のある学校づくりを目指した教職員の実践的指導力の向上」を目的に行われています。本市での開催は13年ぶりで、2日間でのべ136人の教育研究所関係者が集まりました。

初日は中村小学校で、県教育課程拠点校事業の中間発表を兼ね、研究発表会が行われました。

中村小学校では、子どもたちの「大好き」「知りたい」「伝えたい」を大切にした『単元を貫く言語活動を位置付けた国語科の授業づくり』に取り組んでいます。

自分が選んだ本を読み、心に響くところを友達に伝える。自分が



中村小学校での公開事業

好きだと思ふところを紹介する。といった活動を位置付け、教科書のお話で考え方や読み方についての学習を深めていました。

友達と真剣に話し合い、積極的に意見を述べる子どもたちの姿に、参加した方々からは「中村小の子どもたちの、授業にのぞむ生き生きとした姿が素晴らしい」「今後の研究所の活動に活かしたい」等の声をたくさんいただきました。

また、文部科学省教科調査官 水戸部修治先生の講演が行われ、「中村小のような取組が全国的に広まってきており、成果があがってきている」とのお話がありました。

2日目は中央公民館にて、各市町村の教育研究所の取組について協議が行われました。

四万十市教育研究所の「学力向上の取組」「不登校児童生徒への支援」についての報告のあと、本市の抱える学力の課題や、子どもたち



研究発表会に花を添えた中小児童による合唱

の抱える諸問題等について協議を深めました。
今後も教育上の諸問題や、子どもたちの支援に関わる研究や取組を進めていきます。

教育研究所って どんなところ!?

四万十市教育研究所では、市内の教育に関する調査研究を進めています。また、学校の先生方の研修・研究の支援や、学校・家庭・地域の連携をはかり、教育の振興と充実を目指す取組をおこなっています。

併設の教育支援センター（ふれあい学級）では、不登校児童・生徒支援、子育ての悩み、教育に関する悩み等について、相談に応じています。

スクールアドバイザーや、スクールソーシャルワーカーなどが、お子さんの自立支援の手助けや保護者の相談にのる活動をおこなっています。

教育に関するご質問やご相談など、お気軽にご連絡ください。

【問い合わせ先】

教育研究所

☎(35)6536

教育支援センター

☎(34)6556

ご質問・ご意見をお寄せください

(市)教育委員会
西土佐事務所

☎(34)1136
☎(52)1110

FAX(34)4271
FAX(52)1446

E-mail: school@city.shimanto.lg.jp
E-mail: n-school@city.shimanto.lg.jp